夕刊
磐城新聞
七月十六日發行
定價 一ヶ月金五十錢
發行所 磐城新聞合資會社
（日曜祭日翌日休刊）
東京振替一〇八五五六番

隔離生活の思ひ出

由良濱之助

私が腸チフスにかゝつて隔離生活一ヶ月を送つたのは小學校三年の夏のことだから、もう十五年も前のことである

その頃隔離病舎に松本さん（とか云つた）と云ふ看護婦さんがゐた、入院後一週間と云ふものは何せ四十度もあつた高熱にうなされてゐたので日夜何くれとなく世話をしてくれた松本さんのことなどはサッパリ判らなかつたんだが漸く熱も下つた朝方、私は初めて松本さんを見た

0

今でもハッキリ記憶に殘つてゐるが、ぽつてりとした小肥りの女である。ニコ〳〵したその顔には常に愛嬌をたゝえてゐた、とても面倒のよい人でその頃ベッドの上にあつて終日裏板とばかりニラメッコをしてゐた私に對してアブラ蝉等をとつて來ては袋に入れてくれたり、或はハーモニカで『軍艦マーチ』の歌をふいてくれたりした、だん〳〵快方に赴いた私の手を取つて丁度幼な兒が『あんよは上手……』のやうな格好でベッドのあたりを歩かせてくれたのもこの松本さんである

0

或る朝、松本さんが病舎の裏手に行つた處杉の枝に二尺程もある模型飛行機がぶら下つてゐるのを見つけて、早速私に呉れた時の喜びは今でも忘れられない、何でもこの模型機はその頃舊磐中グラウンドで催された第一回模型飛行大會に出されて、滯空記錄が一番だつたがどうしたはずみか八幡様の森の中に落つこちてその儘になつたものだ……と退院間際になつて村上先生（市内南町村上小兒科醫院主）が話してくれた

0

それから忘れられないことは退院後トテモ食慾のついたことである、由來腸チフスと云ふ病氣はヨク〳〵体を瘦せ切らした上病菌を退治すると云ふんだから恐ろしくなるなど腹がへる、私なども悪いことゝとは知りながら途い家の人の隙をつ覘ひソッ！と釜のめしをつまみ喰ひしてゐるのを見つかつた事なども今なほ覺えて、とき〴〵茶のみ話しなどにこの事が持ち出されて大笑ひすることがある

山の中の一軒家

篩宗

つるべに朝顔
咲いてゐる
山の中の一軒家
藁ぶき屋根は
草一ぱい
子供——一人
出て來たよ
黒い顔した女の子
一人ぽつちで淋しかろ
僕、遊んでやろか

毒だみの花

野本多霞夫

○手をつきてひきのつそりと出で來し樹蔭じめりの毒だみの花

○乘り越えて黑板塀に狂ひ咲く花柘榴なり眼くらめり

○滿員の遊覧自動車家と家のあひだより見る海のかゞやき

○草の葉の一つ一つに露もちて夏朝原のすゞしき光り

○あぢさゐの花活け終へて放心のひとうつくしき七月の朝

7月17日

△京都の官幣大社八坂神社の祇園祭　△東京兩國の川開き　△山中鹿之介三百六十年忌（鳥取縣鹿野町幸盛寺）　△富士山大噴火（貞觀六）　△江戸を東京と改む（慶應四）

寄懷福尾詞兄在客路

珠雲　小野務平

一書落手不勝情
游履羨君千里行
昨賞琵琶湖畔月
間吟朝入舊都城

天氣豫報

小名濱測候所觀測

今晩も明日も南西の風曇驟雨模様

吉田松陰の信念（上）

渡邊松久

水逆つて巖にさか卷けば淙々の聲をあげ、風怒つて松が枝を衝けば飄々の韻を放つ。人も意氣軒昂たる時慷慨悲憤する時快々として沈憂するとき、悠々として自適する時情緒或は伸暢し或は阨屈し、或は激動して號泣どなり悲鳴となる

こゝに明治維新の先覺者松陰の烈々として燃ゆるが如き信念と死もなほ奪ふ可らざる日本生命のかなしくも深き尊皇の至心を吐露せる烈歌に對して彫魂の思ひもて靜かにやまとをのこの誠を思ふ

0

松陰は刑死に臨み、皇民無上の叫びを叫んで居る

かくすればかくなるものと知りながら止むに止まれぬやまとだましひ

同時に彼は人の子として痛切無比なる叫びを叫んで居る

親思ふ心にまさる親心今日のおとずれ何と聞くらん

がそれである

0

大義親を滅すといふ。丈夫涙無きにあらず。親を滅するの苦衷誰か之を籌慮するものぞ

0

吉田松陰亦士規七規の末條に曰く

斃レテ後已ムノ四字、言簡ニシテ義廣シ、堅忍果決、確乎トシテ拔クベカラザルモノ、コレヲ舍キテ術ナキナリ、と

これ所謂君子のことにして、小人凡輩のくわだて及ぶ所にあらず。しかもこれだけでは皇士皇民眞自覺に於て未だ缺くる所甚だしきものがあるのである

講談

妖刀流轉（えうとうるてん）

(141)　邑井貞吉演　佐々木今朝吉畫

流轉又流轉（六）

牛藏が刀身をためつ、すがめつして頻りに感心してゐるから、三九郎もつり込まれて

三『さうかなア』

と刀をヂッと眺める

牛『まア見ねえ、この双の色、燒の具合、凄いぢやアねえか』

三『大さうお前氣に入つたようだな、何なら幾らにでもいゝから引取つて呉んねえか、及公ア實のところ路用が無くて困つてゐるんだ！』

牛『然うだらうが、然し乃公が此刀を引取るてえも可笑しなものだ、ウム丁度いゝ事が有るせ、二三日前から乃公の家にな、江戸へ行つてゐる親類が泊つてゐるんだが、この人は道具屋だから、刀劍も扱はねえ事は有るめえ、何とその人に見て貰つちやア何うだ』

三『そいつは飛んだ誂え向きだな、有難え早速頼まうぢやアねわか、精々値をよく買つて貰ふように、兄貴からも話して呉んな』

牛『いゝとも、おい誰か彼方へ行つてな、清兵衛さんを呼んで來てくれ』

○『ヘエ畏まりました』

子分によばれてやがて入つて參りましたのは、尾張屋清兵衛と申しまして江戸は三田四國町に店を持つてゐる道具屋で、牛藏の妹を女房にしてゐる男、信州善光寺へ參詣の行きがけに、親類だから牛藏の許を尋ね、二三日逗留をして居たので御座います

清『エゝ、兄さん何か御用で』

牛『ヤア何うも御休息の處を濟みません、何ネ、これは私の兄弟分ですが、これから長い旅をするに就て、路用を拵へ度い、就ては一つ拂ひ度い物が有るといふので、お前さんは營業柄の事、丁度いゝから見てお貰ひ申さうと思ふんだが、成たけ値をよく買つてやつて下さいな』

清『アゝ左樣で御座いますか、してお品物といふのはこの刀なんで、鞘はこはれたんで新規に拵へなくちやア成られえが、中味は可なりの品だと思ひますよ』

牛藏が渡すのを、受取つた清兵衛が

清『お腰の物ですか、何うも刀劍の鑑定が不得手で困りますが、兎も角拜見させて頂きましやう』

取上げて見たが悲しいかな、この清兵衛自分でもいふ通り成程目が利かない、如何にもいゝ刀だと思ふがどれ程の相場だか見當もつきません、殊に目貫をぬいて檢ためたが無銘と來てゐる

清『何うも私にもよく判りませんが、全體どれ程御入用で』

牛『サア多い分にはいくら多くとも構はないが……幾らに買つて來れますネ』

清『それが今申す通り私にはよく判りませんので』

牛『困まつたなア、そうかと云つて此方は急ぐのだし右から左に金の要る場合、マアいくらでもよいからお前さんが、この位と思ふ所で買つてやつて呉れませんか』

清『成程では斯樣に致しませう、手前も旅先の事、持合せも手薄ゆゑ、取敢ず三十金で頂戴いたし、江戸へ歸りましてから、然るべき方に願つて、殘金をを兄さんの所へお送りしませう』

三九郎考へて見ると、昨夜掻つ拂つて來たこの刀、三十兩でも賣れゝば買り德と思つたから

三『何うも御迷惑をお頼みして濟みませんねえ、それぢやアお言葉に甘ゐます』

清『それではよろしう御座いますか、暫らくお待ちを願ひます』

清兵衛は次の間へ立つて行き

やがてそれへ金子三十兩を持つて參ります。

廣告

初夏の氣分と
行届いたルーム
お出を
お待ち致します。

珈琲と御食事
グリル バッカス
電七〇二

女店員募集
全部給料制度
品位良き方を望む
經驗無き方も良し

新車のお知らせ
斷然!!! 乘心地良い!!!
三七年型フオード
入車いたしました。
是非！御試乘の程を！
市内四丁目
スゞキタクシー
電二一七番

診療科目
一、齒科一般
保存科、補綴科、繼續架工科
齒列矯正科、小兒齒科、齒槽膿漏科
一、口腔外科
一、レントゲン科
中野齒科醫院
院長 日本齒科醫學士 中野惠次
日本齒科醫學士 西川誠
（見習看護婦募集）
平市田町（松月堂向ヒ）（電話五〇九番）

職員募集
一、人事係 內勤一名 外勤一名
一、廿歳ヨリ卅五歳位迄体强、想健活動的人物ヲ求ム
一、給料卅圓以上
一、履歴書提出ノ事（特技附記ノ事）
福島縣石城郡赤井村（小川郷驛）
福島炭礦
電話西小川局呼出

レストラン
サロン
食事 喫茶 酒場を 兼ねた
平田町 電三五二

鮫川砂利採取及販賣
砂利…川部村沼部
砂…山田村法田
玉石…植田鮫川橋下
砂利採取揚場
貨物自動車運搬業、有價證券、株式債券賣買及仲介、商品依托販賣、千代田生命、千代田火災保險代理店
常磐線植田町
植田物産株式會社
取締役 山崎登
電話三一番

各種貨物一般及重量機械類運搬取扱
植田物産錦出張所
石城郡錦村中田
電話（植田）一三五番

胃腸を害ね或は下痢をしたり或は三日も四日も便通がなくて頭痛を覺ゐる御方はキ、メの早い
靈効散 胃腸藥 を御試し下さい
胃腸病。心臓病。腦。痔。適應藥
三年五年と患ふ慢性胃腸病が全快した人が澤山あります御望の方には見本藥一日分を差上げますから御遠慮なく御來局下さい。
平市古鍛冶町縣社ノ下
處方箋調劑所 阿康藥局
電話四四番 振替口座東京三〇〇六番
定價（五十錢 八日分 壹圓 廿日分）
御子様方には飲み易い小兒靈効散があります。

入院隨意（自炊の便あり）
外科專門
X光線科
平南町
病室完備
上田醫院
（電話一二九）

外科、內臟外科
エッキス光線科
新設…産婦人科
院長 安齋徹
醫學士 黑澤廣
入院隨意
平市田町
安齋醫院
電話四七五番

皮膚科
泌尿器科
性病科
專門
診療時間 午前八時ヨリ午後九時マデ
平市田町
江尻醫院
電話六九一
醫學博士 江尻伊三郎
入院隨意

磐城の御みやげ品
名物 靈峰（みやま）羊羹 金十錢
姉妹品 柿羊羹。のり羊羹。沼ノ内辨天羊羹。
御旅のお出入には好個のお土産品です。
小賣御希望の方お申越下さい。
製造發賣元 小川郷驛前
平屋賣店

公債、株式、賣買
一般証券業務
平市三町目 電話一七七番
友部株式店
營業所 水戸市泉町二丁目 電話二四〇・六〇一番
助川町天王町 電話六九番
大子町榮町 電話二九番
持株の御相談に應じます。

科外生募集
邦文タイプライター科（時代の尖端を行く現代婦人の職業）
入學は毎月—隨時 卒業期間—五ケ月
器械使用材料費—月金參圓五十錢
☒卒業者の就職照會は各方面と連絡を有し斡旋致します
洋裁科 躍進日本婦人の家庭職業
入學は毎月—隨時 卒業期間—本科一ケ年
速成科—六ケ月 月謝（ミシン使用料共）金三圓五十錢 外に裁斷科三ケ月卒業の設あり
（細目表一部分拔萃）基礎縫、割烹着、寸法取り方、原型割出、ブルマー、スリップ、エプロン、コンビネーション、ロンパース、簡單服、セーラー、シュミーズ
入學の資格（兩科共）高等女學校、實科女學校を卒業したるもの、本校本科を卒業したるもの、其他本校に於て相當と認めたるもの
文部大臣認可
平陽女學校
平市 電話四五五番

政黨色彩が反映せぬ祝福すべき明朗市政
問題は各派合縦連衡後の動向　ボス政治は避け度い市民の希望

歴報＝平市會の構成は市政、革新、新興、平和(民政萩原派)に中立、無産以上六つの複雑さを見せてゐるが、之を政・民の政黨的公約數で約すると市政、革新の政友と新興、平和の民政と表面の四つが二つに減つて終ひ、爾餘の小會派を加へて都合四つになり、假りに市自治上政黨の色彩を反映する場合には以上の二派が市會を縦横斷する事になるが、各派の對立現狀は政黨的のそれよりも何れも對人的の關係に置かれ、隨つて一部の懸念する自治運營の政黨化は無いものと觀るが至當であると同時に將來市政觀の共通から之等の合縦連衡如何によつては、政黨的には反目離乖を常道とする政、民の握手も容易に想像され、其のコンビ宜しき場合に於て極めて圓滑なる市政の運行も望み得ると同時に、飽く迄力の結束にのみ拘泥する事によつて時に忌むべき所謂ボス政治を現出する場合無きや、未だ以て測り知るべからざるものあるので自覺せる市民の一部には、小黨分立の可否は姑らく措き夙くも之點に關し、今後に對し多大の期待を繋ぐ市會の動向を注視する向があり、此の觀點から來らべき初市會の空氣如何が刮目されてゐる

市内を五班に分割
在郷軍人聯合分會　舊平町の役員決る

市制實施によつて在郷軍人平分會は『平市聯合分會』と改稱され市内を舊平町三班　舊平窪二班　計五班に分けることゝなり舊平町關係者は昨十五日夜七時からマルトモホールに總會を開いて役員を左の如く決定舊平窪二班の役員の決定をまち聯合分會長の選任に當る筈である

(第一班)班長金成少尉　副篠原軍曹
(第二班)班長藤井中尉　副川又少尉
(第三班)班長佐々木軍曹　副大山上等兵

二萬圓分の軍需品殺到
忙しい平鐵工組合

平鐵工機械工業組合は一昨年結成以來は海軍省から派遣された山本技術官が常駐して請負品の規格檢査を行つてゐるが此程海軍工廠から部分品二萬圓分の大量注文が入つたので目下これが製造を急いでゐるがこの注文は縣下各組合で最初のものでで今後ドシ／＼軍需品の注文が殺到するだらうと組合では張り込んでゐる

兵隊さんの家族を慰安
南町青年團の奉仕

市內南町青年團では昨報の如く明後十八日新舞子海岸で區民合同園遊會を催すが參加約五百人以上に上る賑かさ　尚今年は兵隊さんの家族慰安日として同町出身兵五名の家族を招待し出身兵には御神符と家族の寫眞を添へて激勵の手紙を贈ることとなつた

公會堂愈よ着工
廿一日地鎭祭執行

總工費八萬圓を投じ明春市內仲町元博覽會跡にその威容を現出する公會堂は愈よ近く基礎工事に着手することゝなつたので市役所では來る二十一日午前十時から關係者多數を招きこれが地鎭祭を執行することゝなつた

降雨中の接戰 磐女軍に凱歌揚る
對日立陸上競技戰

磐女對日立の陸上競技戰は十五日午後から磐女グラウンドに擧行、降雨のためコンデションは惡かつたが30—15で磐女捷つ、各種目の入賞左の如し

△六十米1八秒四 立川又 2磐女馬目 3同中村 △百米1一四秒 磐女北郷 2日立川又 3磐女有賀 △二百米1三〇秒六 磐女馬目 2日立川又 3磐女阿部 △走巾跳1五米三A 磐女五十石 2日立大足巻 3同高橋 △走高跳1一米二三A 磐女織田 2同薄葉 3同阿部 △砲丸投1八米四一 日立木村 2磐女大須賀 3同中村 △四百米繼走1五七秒一 磐女チーム 2日立チーム

當日の活躍を刮目されてゐる

勝てよ！磐女選手
縣下大會に出場

磐女競技部では昨報の如く十五日午前九時から來る二十二日郡山安積高女グラウンドに開かれる縣下女子中等學校第七回体育大會の選手推戴式を擧行した　同校は昨年陸上競技、排球に優勝して庭球は同點籠球が第二位と云ふ優秀な成績を發してゐるので

國史教授 夏季講習

石城教育部會では來月四日から三日間平第一校講堂に國史教授の夏季講習會を開くが講師は東京高師教授肥後和男氏

。。。小學校長會。。。　市內及び郡下小學校長會を來月四日平第一校講堂に開く

。。。永戸篤志者表彰。。。　永戸村では去る昭和七年來合戸、渡戸、下永井の各小學校に基本金を寄附した四十三名に對し此程木盃一個を添へて表彰

松村院長歸平

市內南町松村醫院主松村鐵郎氏は去月末から東京帝、慶應大學病院並に吉原病院に開催された性病、花柳病學講習に出席中であつたが此の程終了歸院、今後最新式の學理に從ひ診療に從事すると

。。。自治功勞者表彰。。。　永戸簑輪組合では前村議十四名を自治功勞者として十五日午後一時から村役場で表彰

何の暑さから非常時局 海水浴費で軍人慰問
新田町美形連の佳話

ふだんは『銃後の支援』など武張つた觀念には一寸縁の遠い優雅艶冶の官能の巷――市內新田町にも、時局の重大性に鑑みた擧國一致の足並みが揃つた。匪賊の來襲を思はせる樣な驟雨が斷續する昨十五日の午後藝者屋の各へやを代表した年增數名が突如組合幹事を訪れ

國民總動員の大緊張を要する昨今の時節柄、暢氣な演遊びでもありますまい、大陸の炎熱と闘つて國防の第一線に立ち働く兵隊さんの勞苦を思つたら何の暑いがありませう。と。決意の程も雄々しく、組合の恒例となつてゐる藝妓慰安の海水浴を廢し之に對して組合の支出する經費を在滿その他各方面に於ける將士の慰問品費に充てられ度い……旨を申し出たので組合側でも大に其の心根に感激し今十六日正午から技藝稽古所に相談會を開き恐らく前記希望通りに決定するものと觀られるが、右決定の上は之を基本とし各自の醵金を加へ直に發送の手續に出る筈で金額は百五十四圓に達すると

平局チームあす出福
晴の大臣杯を目指し　縣下軟式野球豫選へ

縣下遞信部野球大會は愈よ明後十八日福島市營球場で擧行されるが參加局は

福島　郡山　若松　平　白河

の五チームで須賀川局は當日全國軟式野球大會のため上京するので不參加となつた、過般來各大會に出場して陣容を整へてゐた平局軍は明十七日午後必勝を期して出發する　右大會は全國遞信部內軟式野球の第一次豫選であり晴の檜舞臺は大臣杯の爭奪戰だけにその戰績を期待されてゐる

投檜
投書歡迎

。。。。。市營球場を實現せよ。。。。。

◇十四日、平商對磐中の一戰を觀た。圓熟せる橋本(平商)は、さすがに光つてゐたが磐中の守備は平商のそれより、はるかに勝つてゐたし、走者の機敏さも遠く磐中に及ばないの感が深かつた

◇練習不足が表はれたのだと云つてしまへばそれ迄だ、しかし過去を顧みるに毎年守備の點常に磐中に一日の長あるは何故?小生の淺見より推すにグラウンドの大小及不備が大いに關係してゐると思ふ

◇平商のグラウンドを頭に描いて見よ凸凹はげしい狹苦しいグラウンド『成程あれでは、內外野の練習もうまく行くまい――守備がまづいのも當然だ』

◇縣下に誇る市營グラウンドを作るべく埋立してきた宏大な土地は、俄然第五小學校と平商の敷地となつてしまつた

◇小學校は四ツもある――平商の校舍は明日にも倒れん運命にある――しかも平市の唯一の市立中等校である。第五小學校は現在の平商校跡に建てれば間に合ふと思ふ

◇市營グラウンドを初期通り埋立地に設けて欲しい――しかして平商校を改築して欲しい――これは三萬二千の大きな希望だと信ずる

◇國家、多事多端、明日の國家を背負ふべき健康青年の養成は實に新興日本の渇望して居る所――それの表はれか、政府は保健局さへ設けたではないか

◇宏大な市營グラウンドの一日も早く表はれん事を望む　(一市民)

敗地八分通り進工
復興を急ぐ閼伽井藥師

先年炎上以來住職旭純榮師の奔走によつて着々復興工事を進めてゐる名刹閼伽井嶽常福寺の敗地は昨年來賀費延人夫一千名勞力奉仕同三千名、計四千名を使役して現在約八分通りの進工を見て居り完成迄には尚ほ延一千名の勞力が必要と見られてゐるので村當局では十四日同村國廠院で總代會を開いて協議した結果農閑期を見て勞力奉仕することに決つた

南米移民募集

市役所では縣からの通牒に基いて目下南米パラグアイ移民を募集してゐる　同國への移民は昨年より實施してゐるが氣候風土共に農業に適して移住者の成績もよく昨年度入植者の一戸當り平均收入は一千圓に達してゐると云ふ、家族移民で夫婦の外に十二歳以上のもの二名以上を同伴せねばならず資金四百圓を要する

。。。健康醫指定。。。　市內平病院鈴木定藏氏は今般縣から健康保險醫に指定された

信夫小僧に三年
老齡病体を斟酌さる

曾ては信夫小僧として本縣下を荒し廻つた前科二十四犯――信夫郡庭塚村生れ佐藤末次郎(六八)の公判は十六日午前十時から平區で田中裁判長、石合檢事立會で開廷、老齡病体を斟酌懲役三年を求刑され即決で求刑通りの判決を言渡された、流石の老賊もペコ／＼頭をさげて引き下つた

炭鑛の勇者に追はれ素つ裸になつて逃走
捕はれた梶川嘉助

十五日深更內鄕村宮地內を徘徊する不審の男を平署宮竹の內兩請願巡査がひつ捕へた　宮城縣刈田郡齊川村生れ前科七犯梶川嘉助(四七)と云ひ今年一月宮城刑務所を出獄して郡內に流れ込んだもので目下罪狀を追究してゐる

この男は去る四月中內鄕村雜貨店からタバコをしこたま掻つ攫つて逃走せんとしたのを磐城炭礦勞務課員、電工草野某の兩名に發見され好間村の山中迄追ひ込まれて素つ裸になつて線路傳ひを逃げのびたお尋ね者である

落磐

磐城炭礦住吉坑々夫菊地廣司(三三)機械夫佐藤安善(三三)の兩名は十五日午後坑內で作業中落磐死

。。。。。詐欺漢の目星つく。。。。。

既報去る四日印刷業古市甚太方から〇〇に入營してゐる勇君に依賴されたと詐稱して金五圓を詐取した自稱水戸市大工町五三吉澤和太郎(三〇)の行衛は引續き平署で手配中だが未だ逮捕されない、犯人は愛知縣下を同樣手段で荒し廻つた京都市上京區河原通り舶藥師西入吉田某と稱する男と同一らしい

優秀な成果を期待さるゝ 清香清しい菊花王國
全國第二位の磐中園藝部現況

地方の學校園藝界に嶄然頭角を現はして居る磐中の園藝部は先年同校創立四十周年記念として在校生の醸出により十二坪の近代的兩家根式溫室を設けてより斯道に造詣深き芝綺敎諭の熱心な指導の下に益々本格的向上を示し、今や全國一と稱せらるゝ靜岡縣見付中學に次ぐ優秀な成績裡に引續き著しい進境を辿つてゐるが同部の現況は斯道に熱心堪能にして將來大に伸ぶべき素質を有する三年生以下の二十四名を中心として其の衛に當らせ、其他劃一的の事業としては前肥部員の外二年生(大菊)三年生(懸崖)に一人一鉢宛を栽培せしめこの總數が七百五十鉢に及んでゐる外各種花卉類を併せ合計一萬一千鉢を取扱つてゐる。隨つて相當の經費も要するがそのうち市內に鉢植ゑの分讓(肥料代を見込ます)を依託し之の收入によつて種子代や球根代費の一部に充てゝゐるが昨年度は之が百二十圓程あつた

大体以上の如く四時常春の國を現出してゐる溫室內の美觀もさる事乍ら大輪に懸崖に色とり／＼な七百五十鉢の菊花が相前後して咲き出し芳烈の香を薰ずる今秋の出來ばえこそ今から期待するに充分なるものがある　因に磐中の次ぎ中學校園藝成績の第三位は兵庫縣の明石中學であると

十七日　(小名濱測候所發表)
滿潮　後〇、五〇　後一〇、三〇
干潮　前五、二五　後二、二五

舊六月十日　新七月十七日　土曜　乙巳　先負　開　柳宿

鑑判定應需　東京市本鄕區湯島四丁目　高島易斷總本部　神誠館

▲一白　一喜一憂を免れず業務吉なれば病になかさる▲二黒　逸る心を抑えて他事を企てず定業を守り吉▲三碧　心の動揺を靜め人言にいざなはれぬ用心が第一▲四綠　既得の業務に專念し他事を企てぬが安全▲五黄　氣運次第に逆轉する日起業開店皆醉な凶▲六白　千慮に一失ある日過まんより退くが極安全▲七赤　勝ほこりて伏兵に慘敗する如し勢に乘るは凶▲八白　華々しきは凶路事地味に取り計らふが安全▲九紫　根氣を以て幸運に乘ずべき日熱心の功あり

廣告

酒とマツイ
おでんの榮ちゃん
平市田町花ノ里　電話三三番

郷土のみやげ物は……
味よく　體裁よく　體格よく　三拍子揃つた　潮の華　一本拾錢
○御披露の爲　七月十日より二十日まで　賣出し期間中＝二割引
◎販賣店を募集いたします。
平市五丁目　泉屋菓子店　電話六六八番

十日より十七日まで　福引大賣出し
金二圓也御買上毎に福引券呈上(空籤なし)
景品目錄　特等―二十圓商品券　一等―銘仙反物　二等―新柄帶皮地　三等―小供仕立物　四等―御風呂敷　五等―御手富貴
御進物には三井の呉服
(かや大廉賣)
(夏掛蒲團特賣)
三井呉服店　平市　電話三八・三八四番

開店
眼鏡專門の店　七月六日より生れました
自覺視力試驗の設備もあります。
御自由に御試し下さい。
各眼科處方調製
平市二丁目　メガネ專門　玉屋眼鏡店

謹啓　老母セキ儀永々病氣の處療養相叶はず七月十五日午前〇時三十分死去仕り候間此段御通知申上候
追て葬送の儀は七月十七日午後二時自宅出棺明賢寺に於て佛式に依り相營み申候
昭和十二年七月十五日
田中ハナ
田中トキ
外親戚一同